

平成 31 年 3 月 27 日 統合型リゾート（IR）説明会

意見交換等

- 5～10 人程度でグループをつくり、ワークショップで感想等を共有した。
- 市長に対して、各グループから 1 つ質問をした。

【グループ 1】

- ・依存症よりも治安の方が心配。治安悪化は住民に迷惑をかける。
- ・IR ができた場合、地元とどう関わっていくのか。

【促進委員会】

- ・国はまず国内 3 か所の IR を認可する。国の威信をかけた国家事業であり、もしこの 3 箇所で失敗すると、第 2 次の認可までいけないので、国・県・市もしっかり対応するはず。
- ・税収が増えれば様々な対策もとれる。

【市長】

- ・国や事業者が策定する事業計画に「治安対策」も盛り込まれ、国が厳正に審査する。
- ・地元との関わりについては、事業者や自治体も含め十分に協議していく必要がある。

【グループ 2】

- ・冒頭での話、市の人口が将来 43%減るということは、普通の会社でたとえるなら倒産も同じ。そうした市の将来を想定したグラウンドデザインを示してほしい。そして生き残るためにはどうすればよいかという議論をしたときに IR の説明をすれば分かりやすい。
- ・IR はギャンブルだけがクローズアップされている。私は世界のカジノや国内の競馬場にはだいたい行っているが、依存症にはなっていない。
- ・今の競馬場は昔と違ってタバコも落ちていないぐらい綺麗。IR をやるなら国外から集客しないと難しい。

【市長】

- ・日本全体で人口減少が進んでいるが、市でも、人口減少スピードを少しでも緩やかになるよう様々な事業を進めている。
- ・将来の想定ビジョンを示すことは可能。例えば水道料金で言うと、人口が減っても全体の配水設備は変わらないので、その分水道料金は上げざるを得ない。交流人口が増えれば水を使ってもらい、お金も落としてもらえ。
- ・あくまでも市の総合計画がまちづくりのベースであり、実現が未確定な IR はプラスアルファ。IR を核に周辺に観光客を呼び込むことが国の政策であり、日本人がターゲットというよりも海外から来てもらうことが大きな魅力。

【グループ 3】

- ・市が誘致をするうえで今後の進め方の手立ては。
- ・何を持って最終決断とするのか。

【市長】

- ・ 今後は4月に榛原地区で同じ内容の説明会を行う。自治会レベルで説明を聞きたいという事であれば出向く。県が国へ申請しないと何もならない。8月には国の方針が示される。県にもしっかり検討してもらえよう働きかけをし、県も議論を進めていく。
- ・ 最終的に県が国へ認可申請するには、県議会の議決と市の同意（市議会の議決）が必要。

【グループ4】

- ・ 30年前、静岡空港の話が出た時に同じようなことを聞いた。「空港ができれば周りにホテルやデパート、県の施設ができる」。現実には、榛原地区の商店街はシャッター通りとなり、空港周辺も言っていたとおりになっていない。それと同じ。バラ色の話はもういい。

【市長】

- ・ 当時、市の空港担当をしていた。当初利用客数を130万人と言っていたが、想定どおりの利用客には至っていない。今度の運営事業者はまた135万人を目標にしている。
- ・ 空港は県が作り、周辺の施設は他の事業者が作る。今回のIR事業はホテルや展示場といった全ての施設をセットで事業者が作る事が条件となっている。

【グループ5】

- ・ これからの若い人たちの発想力のある考えで計画した方が良い。今回のように「降ってくる計画」は時間も限られているし、方針が決まっている状態。
- ・ 今までの牧之原市のやり方である参加型や対話型と、やっている事が根本的に違う。

【市長】

- ・ 「若い人たちの…」というのはまさにその通り。今日いる榛南JCは40歳未満の若手事業者の集まり。その人たちが手弁当でこれからの人口減少対策やまちづくりを一生懸命学んだ中で、IR事業者まで見つけ出して提案してくれたことはご理解願いたい。若い人たちが考えたまちづくり。
- ・ 牧之原市型の「対話のまちづくり」について。これまで自治基本条例や総合計画については、時間をかけてじっくりとやってきた。今もそれにのっとり後期の総合計画を進め、未来若者プロジェクトについても市民との対話や、意見を聞きながらやってきた。
- ・ IRについて牧之原市は全国の中で最後発。他の先進地は既に前向きに進めている中で、1年2年かけて対話していると終わってしまう。今年の8月に国が基本方針を出し、公募を始めた時に話に乗れなかったらもう終わり。どんなにいい話で、どんなに苦労しても、県が申請してくれなかった終わり。
- ・ 今回は時間がないので、市の方針をまず示し、皆さんの意見を聞いていく中で、リスクをなるべく小さくする対策を講じ、メリットを大きくしていく。

【グループ6】

- ・ 今日の説明でIRの入口ぐらいまでは理解した。今後の牧之原のことを考えると大いに進めていただきたいと思っている。また次回開催に出席してもう少し勉強したい。